

テーマ研究・調査活動成果報告書

提出日：2014年 3月 28日

| | | |
|----------------------------|---|--|
| <p>テーマ名</p> | <p>ビッグデータ・オープンデータの研究</p> | |
| <p>届出組織等名称</p> | <p>ITC千葉ネットワーク</p> | |
| <p>成果物公開URL</p> | <p>http://www.itc-chiba.net/</p> | |
| <p>当活動代表者 及び担当者連絡先</p> | <p>(代表者氏名)松田 隆 電話番号：090-5216-4517 e-mail：takashi.matsuda@fxkt.fujixerox.c</p> | <p>(ITC千葉テーマ研究幹事氏名)近藤 正人 電話番号：080-4354-0380 e-mail：ma.kondo@teijin.co.jp</p> |
| <p>研究・調査 成果概要</p> | <p>【研究・調査目的と狙い】 下記の2点についてITCの視点で検証・研究を行う。 ◆公共データの民間開放(オープンデータ)の推進 ◆ビッグデータの利活用推進(個人情報流通・促進等)</p> <p>【ポイント】 ◆企業内外にとまらず、市場動向を掴む為のデータから「気づき」を得て、戦略的にプロモーションに繋げ、企業の業績アップや地域活性化に貢献できる仕組みを模索する ◆積極的公開へのシフト、個人情報の保護といった制度面の課題を洗い出し、解決へ導く。 ◆「何ができるか」という視点と、「どのように活用すべきか」という2つの視点で検証する。</p> <p>【研究・調査内容】 ① ビッグデータ・オープンデータへの取り組みについて 千葉市公募のアイデアコンテストに応募し、佳作アイデア(2点)として入選した。 ② 自治体の動きとITCの視点 自治体のオープンデータ活用への取り組みを調査した。「行政の視点では、新事業・新産業の創出や住民生活の利便性向上に繋げ、ITC視点としては、新たなビジネスチャンスに繋ぐ行動を行うべきである」との結論に辿り着いた。 ③ 自治体オープンデータの調査 自治体(都道府県・市長区村)を対象に、オープンデータの公開レベルを調査し、利活用の成熟度を評価した。 ④ 中小企業のための 機密・個人情報漏洩の原因と対策 ビッグデータ利活用におけるリスクとして機密・個人情報漏えい対策を検討する必要がある。具体的にどのようなリスクが潜んでいるのかを検証した。 ⑤ BigDataと企業内IT コンピューター・インターネットの依存度が高まりによる脆弱性や、サイバー攻撃の進化・多様性に加え、ビッグデータ・パブリックデータへの注目度が増大。ガバナンス視点だけでなく、IT利活用の立場から検証した。</p> <p>【総括】 ビッグデータ・オープンデータの的確な分析が行われ、活用されていかなければならない。「ITと業務の架け橋」となる役割を持ち、ITCとして今後更なる活躍のステージ(場面)が出てくると思われる。</p> | |
| <p>成果物</p> | <p>◆ITC千葉ネットワークとして、上記内容に基づき、テーマ研究を実施した。 実施期間：2013年6月～2014年3月 参加メンバー：松田隆/阿部一成/小倉道雄/徳永雅彦/白井貴子/近藤正人/松本土郎/黒田弘 ◆ビッグデータ・オープンデータの活用アイデアコンテストへの応募結果は、下記サイトをご参照下さい。 ※アイデア名：『災害時の避難場所への自動案内サービス』/『ちばアグリ交流広場(農業/人材コーディネート事業)』 <参照先：ビッグデータ・オープンデータ活用推進協議会Facebookページ> URL：facebook.com/bigdataopendata4city ◆2014年2月15日(土)に、ITC千葉ネットワーク主催したセミナーにて、研究発表した内容である。 ◆2014年3月30日付で、ITC千葉ネットワークのWEBサイト内で公開している。 URL：http://itc-chiba.net/</p> | |

| | |
|---------------|-----------------|
| <p>事務局受付日</p> | <p>2014/4/1</p> |
| <p>案件番号</p> | <p>S13005</p> |